

ASEANにおける女性のスポーツ実施率向上に関するコンセプトノート（概要）

1. 背景

- ASEAN コミュニティーの中で、女性は重要な関係者であり、2017年7月に開催された、ユネスコ主催のスポーツ大臣会合（MINEPS VI）で承認された「カザン行動計画」において、スポーツ界における男女平等の実現とスポーツを通じた女性のエンパワーメントへの取組は国内外のスポーツ政策において重要な要素として記載された。
- スポーツ庁は本年4月に2014年に改訂された国際女性スポーツワーキンググループが提唱する「ブライトン・プラス・ヘルシンキ2014宣言」に日本の主要4団体とともに署名をし、国内外に向けて女性スポーツに対して取組む姿勢を示した。
- 本プロジェクトはアジア初の開催であるラグビーワールドカップ2019及び2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて日本政府の協力の下、ASEAN諸国が日ASEANスポーツ大臣会合で定めた協力の枠組みの中で実施される。
- 本事業を通じてASEANにある女性のスポーツ実施率向上に貢献しうる関連団体を特定化し、女性スポーツの発展だけでなく、生涯の健康、女性の権利、女性ロールモデルの増加など、社会的な課題にもアプローチし、UN、UN Women 及びその他のパートナーと連携して本事業を推進する。

2. 目的

- a. ASEANのすべての男性と女性のスポーツの重要性に関する意識を向上させる。
- b. ASEANの女性の社会文化的な解釈や困難を特定化する。
- c. 地域レベルの女性のスポーツ実施率向上の支援やラグビーワールドカップ2019及び2020年東京オリンピック・パラリンピックムーブメントを促進する。
- d. ASEANにおけるスポーツ界の男女平等の実現及びスポーツを通じた社会の男女平等を促進する。

3. 裨益対象者

ASEAN諸国のスポーツに従事する女性（及び男性）

4. スポーツに関するASEAN五か年計画（AWPS）との関連性

- ① 「Key Element 1 ASEANの人々の結束や地域コミュニティに寄与するスポーツ活動を通じた、ASEANの連帯意識の促進」（女性のスポーツ実施率を含む）
- ② 「Key Element 2 相互利益のあるスポーツ交流を通じたASEAN共同体の意義の醸成」（特に女性に関する事柄）

- ③ 「Key Element 3 健康ライフスタイルによる ASEAN の人々の耐性の強化」(女性が抱えるニーズに対する強化)
- ④ 「Key Element 4 能力開発や技術プログラムを通じたスポーツのダイナミズム、競争力、能力の強化」(女性に適したプログラム)

5. 主要な事業の要素

- a. 地域レベルでの大会の開催を通じた、女性アスリートの能力発揮や、ロールモデルとしての女性アスリートの可視化
- b. ASEAN 諸国と日本のスポーツアンバサダーを活用した女性のスポーツに対するモチベーションの向上
- c. 女性のスポーツ参加促進のための地域のニーズや健康に関する課題についての認識の向上
- d. 安心してスポーツに参加するための施設やインフラの整備
- e. ASEAN と日本のフレンドリーマッチを含む地域レベルの競技会の開催
- f. 女性コーチ、審判、マネジメントスタッフの育成

6. 期待される成果

- a. 女性のスポーツに対する興味の上昇
- b. スポーツ行政やスポーツ団体のガバナンスを含む女性フレンドリーなインフラと環境の増加
- c. 特に女性に対する ASEAN と日本のテクノロジー移転の強化
- d. ラグビーワールドカップ 2019 及び 2020 年東京オリンピック・パラリンピックのプロモーションの促進。

7. 日本の役割

本事業は日 ASEAN スポーツ大臣会合の最初のフラッグシッププロジェクトである。女性スポーツはスポーツ・フォー・トゥモローにおいても、主要なテーマの一つであり、また国際連合が定める「持続可能な開発目標 (SDGs)」のゴール5である「ジェンダー平等」の実現にも貢献することができる。